



安全・適正就業だより

☆☆

7月は、安全・適正就業強化月間です。自分の安全に対する意識・環境、仕事の適正就業などについて再確認してみましょう。 「見逃すな ヒヤリですんだ あの経験」

巡回視察報告

・・・事故0を目指して。



6月1日、個人住宅の除草と草刈り作業現場を視察しました。委員長から、暑くなってきたので、こまめな水分補給と休憩をとること、防虫対策のため必ず長袖の作業着を着用する、草刈り作業については、特に民家が近いので小石の飛散防止を行って作業をするなど、十分な安全対策を心掛けるように話がありました。

「自転車安全利用講習会」が開催されました。

事業委員会主催

・日 時 平成 27 年 6 月 8 日 (月) 9 時 ~ 12 時
・場 所 秩父中央自動車学校 ・参加者数 31 人

交通事故で死亡した人の約半数が 65 歳以上の高齢者であり、その多くが歩行中や自転車に乗っている時の事故です。原因は、約 4 割が出会い頭の事故で、その内の約 7 割が交差点内で起きています。交差点は必ず止まって安全を確認してから渡りましょう。ヘルメットの着用も自分を守る有効な手段です（購入についてはシルバー人材センター（平沼）までお尋ねください）。



平成 27 年 6 月 1 日から「悪質・危険な自転車運転者に対する講習会制度」が施行され、3 年以内に 2 回以上摘発されると、受講料 5,700 円を支払い「自転車運転者講習」を受講することが義務となりました。主な危険行為は



(1) 信号無視 (2) 通行区分違反 (3) 遮断踏切立入り (4) 制動装置不良自転車運転 (5) 酒酔い運転などです

事故報告 1、5月23日、草刈り作業中、民家と車の窓ガラス

を破損した。作業終了時に見回ったが確認できなかった。

※一層の、小石飛散防止対策と終了後の確認をお願い致します。

2、5月27日、施設管理業務で自家用車を運転中、信号待ちのあと発車した時、後方から来た車によそ見をしていて追突された。怪我はなかった。



会員の声

安全なんか？と目に耳にするけど安全の意味は？

私たちが生活する中で、安全の付いた四文字がたくさん浮かびます。安全第一、安全運転、安全管理、安全就業、家内安全等があります。そしてこれをおこたると危ない目にあいます



では、安全とはどういうことか、この二文字を掘り下げてみますと、安全の安は、おだやか、全はすべてと広辞苑では言っています。お客様も、仲間もそして自分も一日おだやかでとなります。では、先ほど安全運転の中でこれをおこたると、危ない目に合うと言いましたがこの危ないとは、はらはらすることです。したがって安全とは、はらはらしない、させないでおだやかにことを進めるとなります。

そんなことから、安全を冠にする四文字は「すべておだやかに」が意味を成しています。この安全の「語源」を頭の上を通過させることなく四文字に向き合ってください。
(T・K)

編集後記

5月号で「大募集」のお願いをしたところ、早速ご投稿いただき有り難うございました。インターネットを利用する場合は、秩父市シルバー人材センター→お問い合わせをクリック→氏名など必要事項を記入→送信をクリックしてください。お待ちしております。
※ご意見などの場合、300字以内にしていただくと有り難いです。

秩父市野坂町1-13-14、電話0494-22-4454、秩父市シルバー人材センター、安全・適正就業委員会

時の話題

今年も出店しました。秩父市シルバー人材センターでは、芝桜の期間中、手作り小物班・農作物・折り紙・まんじゅう班の人達が自慢の作品を販売しました。

